

(2) 中・長期的な財政計画と総合将来計画（もしくは中・長期の教育研究計画）との
関連性、適切性

現状の説明

法人全体については、中・長期的な将来計画があるが、大学独自の中・長期的な財政計画や総合将来計画はない。

点検・評価

長所と問題点

法人全体の計画と整合した、大学独自の中・長期的な財政計画や総合将来計画を策定する必要がある。また、法人全体の中・長期的な将来計画の策定に関しても、積極的に関与していくことも望まれる。とくに、18歳人口の減少に対する大学としての戦略に関する検討も不十分であり、早急に運営委員会等での検討に着手することが必要である。

2 外部資金等

(1) 文部科学省科学研究費、外部資金（寄附金、受託研究費、共同研究費など）の受け入れ状況と件数・額の適切性

現状の説明

科学研究費の受入状況は、大学基礎データ「V 研究活動と研究体制の整備」「9 科学研究費の採択状況」に、外部からの資金の受付状況は、大学基礎データ「V 研究活動と研究体制の整備」「10 学外からの研究費の総額と一人当たりの額」に示す。

長所と問題点

科学研究費の申請件数、採択件数ともに少なく、教員の自覚を強く求める必要がある。

将来の改善・改革に向けた方策

外部研究費を受け入れ易いシステムを構築する必要がある。本学では、研究費の受入れ及び支払の適切性をチェックするための事務システムはあるが、それ自体を支援する仕組みがないため早急な改革が求められている。

3 予算の配分と執行

(1) 予算配分と執行のプロセスの明確性、透明性、適切性

(2) 予算執行に伴う効果を分析・検証する仕組みの導入状況

現状の説明

大学事務局で作成された予算案は運営委員会に報告される。運営委員会です承された予算案は法人本部へ提出され、法人との折衝の後、法人理事会、評議員会の承